

道北北部医療連携ネットワークシステム (ポラリスネットワーク) について

当院は、地域の医療機関との医療連携において、患者さまに一貫性のある医療を提供することを目的に、医療連携ネットワークシステム（以下「ポラリスネットワーク」という。）を導入しております。これは、正確な情報に基づいた高度で安全な医療の提供を行うために、当院と地域における連携医療機関との間でネットワークを結び、ITを利用し診療情報の共有を図るものです。

以下の主旨をよくご理解いただいたうえで、ご賛同いただきたいと思います。

1. ネットワークの目的

「ポラリスネットワーク」は、患者さまのプライバシー保護を厳重に図りながら、診療情報の一部を地域の連携医療機関との間で共有し、画像・検査などから得られた多くの共有データを元に、効率的に質の高い安全な診療の提供を可能にすることを目的としています。

2. ネットワーク化のメリット

「ポラリスネットワーク」を活用し、当院から連携医療機関への紹介状に併せてデータを送信することで、画像・検査・薬歴等の情報が共有化され、検査や投薬の重複防止が図られるなど、安全で質の高い診療を受けることが可能になります。

また、救急医療において、他病院の専門医による遠隔診断を可能にし、専門医が不在である病院においても適切な診断による転院搬送が可能となり、患者さまの負担軽減が図られます。

3. 個人情報の安全確保

「ポラリスネットワーク」では、患者さまの診療情報を守るために次のような対策を講じています。

- (1) 患者さまの診療情報を見ることができるのは、下記の連携医療機関と当院の医師に限られます。
- (2) 「ポラリスネットワーク」は、外部からの不正な侵入に対して厳格に情報を保護しています。

4. 救急遠隔トリアージ依頼時、紹介状（診療情報提供書）発行時に公開します。

救急医療における遠隔トリアージの依頼時、および当院から連携医療機関へ紹介状を発行するとき、紹介状を提出することで公開の同意が得られたと判断し、紹介先へ情報を公開いたします。

病病連携、病診連携においては患者様から申し出がなければ個人情報保護法に基づき施設間で医療情報の共有をさせていただきます。

「ポラリスネットワーク」での診療情報共有を取りやめたい場合には、当院にお申し出ください。もし、取りやめた場合でも、今後の診療に不利益を被ることはありません。

連携医療機関（令和6年10月1日現在 順不同）

名寄市立総合病院	士別市立病院	臨生会吉田病院
名寄東病院	名寄市風連国保診療所	たに内科クリニック
名寄中央整形外科	名寄調剤薬局	ナカジマ薬局
ソルハドラッグ	グリーン薬局	今田薬局
池田薬局	風連調剤薬局	サンピラー調剤薬局
士別市上士別医院	しべつ内科クリニック	道北クリニック
町立下川病院	美深厚生病院	剣淵町立診療所
和寒町立診療所	音威子府村立診療所	市立稚内病院
中川町立診療所	枝幸国民健康保険病院	浜頓別国民健康保険病院
興部町国民健康保険病院	西興部厚生診療所	天塩町立国民健康保険病院
遠別町立国保病院	豊富町国民健康保険病院	滝上国保診療所